

〔科目名〕 人間の心理				〔単位数〕 4 単位		〔科目区分〕 教養科目(第 1 群)	
〔担当者〕 鈴木 郁生 SUZUKI Ikuo		〔オフィス・アワー〕 時間:授業開始時に明示する 場所:614 研究室				〔授業の方法〕 講義	
〔科目の概要〕 心理学は「こころ」そして「人間」を対象とする学問である。その対象は、人間がどのようにものを見ているのか、どのようにして思い出を積み重ねていくのか、あるいは個性を形作っているものは何なのか、など多岐にわたる。これまでの心理学研究によって、人間の「こころ」の意外な働きについて多くのことが分かってきた。本授業ではこうした心理学の基礎について学び、人間とその心理について考えていきたい。 授業の前半では感覚・知覚、記憶、注意などの認知領域を主に扱う。後半では主に社会心理学的な視点を基礎として、対人認知、対人魅力などを扱う。半年という短い期間であるが、心理学の基礎的な知識を身につけてもらいたい。							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 普段気にしないようなことでも、見方を変えれば興味深いことが沢山あるものである。心理学について学ぶことで、たとえば「ものを見る」ということ一つをとっても様々な不思議が隠されていることが分かってもらえるだろう。本授業では、人間とその心理に対する新たな視点を得、人間についての理解を深めることが期待出来る。また日常的な事柄と結びつけて考えることで、生きた教養としての有用な知識を獲得出来るだろう。							
〔科目の到達目標〕 本科目の到達目標は、心理学の基本的な知識を獲得することである。具体的には、感覚・知覚、記憶、注意、感情、ヒューマンエラー、思考などの人間の認知過程に関わる事項、そして印象形成、対人魅力、対人認知、態度変容といった社会心理学に関わる事項を、基礎的なレベルで広く修得する。 また、心理学への興味・関心と、学んだ知識をもとに自ら学ぶ姿勢が醸成されることを期待している。							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
	○		○				
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 授業評価では肯定的な評価をしてもらっている。							
〔教科書〕 なし							
〔指定図書〕 なし							
〔参考書〕 授業時に適宜紹介する。							
〔前提科目〕 なし							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 期末試験を行う。また授業中に適宜課題を課す。これらを総合し、各学生の到達目標の達成度を評価する(期末試験は、評価の概ね 70%程度である)。達成度の基準は、本学履修規程に従う。							

加えて、自由レポート(内容及び規定は初回授業時に明示する)を随時受け付けており、その得点を総合得点に加算する。これは提出しなくても減点にはならないが、十分な内容として認められるものでなければ加点に繋がらない。	
【教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望】 授業を展開するにあたって、体験的な実験等を行う予定である。授業内容の理解に有用なものなので積極的に参加するようにしてもらいたい。また受講者の理解が進むよう、具体的な例を挙げながら授業を進める予定である。受講者も好奇心を持ち、自らの経験等に照らしながら学習を行ってもらいたい。	
【実務経歴】 該当しない。	
授 業 スケ ジ ュ ー ル	
第1回	テーマ(何を学ぶか):心とは？ 内 容: オリエンテーション。心理学という学問の対象について。 教科書・指定図書
第 2 回	テーマ(何を学ぶか):心を測定することはできるのか？ 内 容:心理学の研究法。 教科書・指定図書
第 3 回	テーマ(何を学ぶか):私たちの感覚の限界とは？ 内 容:感覚。 教科書・指定図書
第 4 回	テーマ(何を学ぶか):私たちは世界を同じように認知しているのか？ 内 容: 感覚と知覚の特性。 教科書・指定図書
第 5 回	テーマ(何を学ぶか):どうやって世界を認知しているのか？ 内 容:感覚と知覚の特性。 教科書・指定図書
第 6 回	テーマ(何を学ぶか):私たちが知覚する世界は本物か？ 内 容:視覚の特性。 教科書・指定図書
第 7 回	テーマ(何を学ぶか):目に見えている世界は正しいのか？ 内 容:錯視を中心に、知覚システムについて学ぶ。 教科書・指定図書
第 8 回	テーマ(何を学ぶか): 記憶をどのようにたとえるべきか？ 1 内 容:人間の記憶過程について学ぶ。特に記憶の区分、そしてその中でも感覚記憶、短期記憶について学ぶ。 教科書・指定図書
第 9 回	テーマ(何を学ぶか): 記憶の役割は「覚える」「思い出す」だけか。 内 容:短期記憶を踏まえ、ワーキングメモリの特性について学ぶ。 教科書・指定図書
第 10 回	テーマ(何を学ぶか): 記憶をどのようにたとえるべきか？ 2 内 容: 意味ネットワークモデルなどの記憶理論。 教科書・指定図書

第 11 回	テーマ(何を学ぶか):忘れずにいられるのか？ 内 容: 忘却の理論。 教科書・指定図書
第 12 回	テーマ(何を学ぶか):その記憶は本物か？ 内 容: フォールスメモリなどに関わる記憶の特性。 教科書・指定図書
第 13 回	テーマ(何を学ぶか):私たちが感じている感情は、皆同じなのか？ 内 容:感情(主に情動)の基本的な理論および知見を紹介する。 教科書・指定図書
第 14 回	テーマ(何を学ぶか):感情を感じるための主役は何か？ 内 容:引き続き、感情の基本的な理論を概説する。 教科書・指定図書
第 15 回	テーマ(何を学ぶか):感情は私たちにどう影響するのか？ 内 容:情動と認知の関係について、最近の知見に基づいて紹介する。 教科書・指定図書
第 16 回	テーマ(何を学ぶか):他者のところを読むことは可能か？ 1 内 容:生理的変化と虚偽検出 教科書・指定図書
第 17 回	テーマ(何を学ぶか):他者のところを読むことは可能か？ 2 内 容:感情認知に関する問題。 教科書・指定図書
第 18 回	テーマ(何を学ぶか):私たちはどうやって必要な情報を選択しているのだろうか？ 1 内 容:注意理論の変遷を踏まえ、注意研究の進歩について学ぶ。 教科書・指定図書
第 19 回	テーマ(何を学ぶか):私たちはどうやって必要な情報を選択しているのだろうか？ 2 内 容:注意の仕組みについて学ぶ。 教科書・指定図書
第 20 回	テーマ(何を学ぶか):なぜヒューマンエラーが起こるのか？ 内 容:アフォーダンスという考え方について学ぶ。 教科書・指定図書
第 21 回	テーマ(何を学ぶか):身体的魅力は効果があるか？ 内 容:身体的魅力の効果について考察する。 教科書・指定図書
第 22 回	テーマ(何を学ぶか):なぜその人に好意をもったのか？ 1 内 容:近接性など、対人魅力に関わる要因。 教科書・指定図書
第 23 回	テーマ(何を学ぶか):なぜその人に好意をもったのか？ 2 内 容:対人魅力など対人認知に関わる要因と行動特性について、実生活と結びつけて解説する。 教科書・指定図書
第 24 回	テーマ(何を学ぶか):好意と愛の違いは何か？ 内 容:対人魅力に関わる知見を紹介する。 教科書・指定図書

第 25 回	テーマ(何を学ぶか):相手の態度を変えるにはどうすればいいのか? 内 容:説得など、態度変容の方法について学ぶ。 教科書・指定図書
第 26 回	テーマ(何を学ぶか): 態度が変わるのはなぜか? 内 容:認知的不協和理論など、人間の態度変容の仕組みについての理論を学ぶ。 教科書・指定図書
第 27 回	テーマ(何を学ぶか): 人はどこまで他者の命令に従うのか? 内 容: マインドコントロールや社会的役割などの影響を学ぶ。 教科書・指定図書
第 28 回	テーマ(何を学ぶか): 私たちは合理的に考えているのだろうか? 内 容:人間の思考の特性について学ぶ。 教科書・指定図書
第 29 回	テーマ(何を学ぶか):思考の歪みとは何か? 内 容:認知バイアスを中心に、思考・行動の特性を学ぶ。 教科書・指定図書
第 30 回	テーマ(何を学ぶか): まとめ 内 容: 全体のまとめを行う。 教科書・指定図書
試 験	